

系 統	2成分型ポリブタジエン系シーリング材
特 長	1) 低モジュラスであり、伸縮追従性に優れる。 2) 流し込み作業に適した流動性を有する。
用 途	1) 鋼製伸縮装置の非排水化用目地材
配 合 比	主 剤：硬化剤 = 1 2 : 1 (重量比)
荷 姿	2 k g セット (主 剤 / 1. 8 4 6 k g 、硬化剤 / 0. 1 5 4 k g) 5 k g セット (主 剤 / 4. 6 1 5 k g 、硬化剤 / 0. 3 8 5 k g)
外 観 性 状	主 剤…黒色粘稠液状 硬化剤…淡黄色透明液状 混合物…黒色粘稠液状

可使時間の目安

タ イ プ	通 年 用			
	5	1 0	2 0	3 5
温 度 [°C]	5	1 0	2 0	3 5
フィンガーシール促進剤 [ビン]*	2	1	使用しない	
可 使 時 間 [分]	3 5	3 0	2 0	1 2
指 触 乾 燥 時 間 [時間]	5. 0	4. 0	3. 5	2. 5

※促進剤の荷姿が1kgプラスチック容器の場合の使用量は、フィンガーシール促進剤の製品説明書を参照すること。

比 重	1. 1 0 ± 0. 2 0 (硬化物)
貯 蔵 保 証 期 間	9か月 (未使用、冷暗所保存)
消 防 法 に よ る 区 分	主 剤 危険物 第4類 第4石油類 非水溶性 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
毒 物 及 び 劇 物 取 締 法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当しない
使 用 方 法	1) セット単位または、主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) セット単位で使用する場合は、缶の天を切り、全量を掻き出して使用する。 硬化剤の添加量が不足すると硬化不良を起こす恐れがある。 3) 主剤と硬化剤を、均一になるまで十分に混合攪拌する。 4) さらに、攪拌容器を換えて2回目の攪拌を行う。 5) フィンガーシール促進剤は、2回目の攪拌時に所定量を加え、十分に混合攪拌する。 6) フィンガーシールプライマーの指触乾燥後、フィンガーシールを流し込み充填する。
使 用 上 の 注 意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイトランス、汚れ、水分の除去) 2) 配合比が1 2 : 1 なので混合攪拌は十分に行い、容器を換えての2回攪拌を行う。 3) 促進剤は、可使時間が短くなるので、2回目の攪拌時に加える。 4) 可使時間内に作業を終了する。 5) シンナーや水を混入して使用しない。 6) プライマーとして、フィンガーシールプライマーを使用する。

⚠ 注 意

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 健康上、注意を要する物質を含有しています。 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。 |
|--|